

図書委員のおすすめ本 2022

Minoteen

Vol.4 (3年生編)

『准教授・高槻彰良の推察 1～』

澤村御影/著

大学で孤独だった深町尚哉は、なんとなくで受講した「民俗学Ⅱ」のイケメン准教授の高槻に気に入られてしまう…。
それには深い訳が！
(はるやん)



『余命 3000 文字』

村崎羯諦/著

余命が「何年」ではなく「何文字」と医者に言われた主人公が字数を減らさないように生きていくという物語です。他にも色々な物語があるので1冊の本であらゆる感情がめばえます。
(神聖ケイハッタンカフェ)

『100万回生きたねこ』

佐野洋子/著

皆さん一度は読んだことのある『100万回生きたねこ』ですが、小学生の時に読むのと高校生のときに読むのでは、内容が少し違った気がします。ぜひ昔に戻ってこの絵本を読んでみてください。
(リクオ)



『流浪の月』

凧良ゆう/著

はじめに読んだ冒頭の一章の意味を、読み終わったときにはじめて理解することができる洒落た作りの本です。当事者間と第三者の認識のズレがもどかしくもクセになります。読んでね！
(岡村)



『羅生門』

芥川龍之介/著

生きるってどういうことなのかとても考えさせられます。面白いし、国語の教科書にも出てくるので是非読んでください!!
(きしん)



『めっきらもっきらどおんどん』

長谷川摂子/著

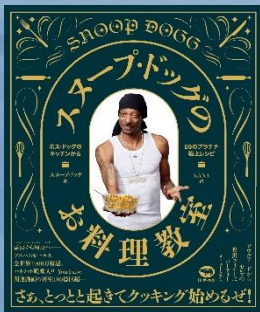
小さいときに読んでとてもおもしろかったです。とくに「おたからまんちん」が泣いてたのがおもしろかったです。途中で縦開きになるページがあって良いです。
(へんてこりん)



『スヌープドッグのお料理教室』

SNOOP DOGG/著

みなさんご存知 Doggystyle や Drop It Like It's Hot で有名なスヌープ大先生です。この本を読むと、なんと!!スヌープおじさんの笑顔と好物を見れちゃいます!!読んでいる内にも多数の曲名やアーティストが出たりと west side 好きなら読むべき1冊です。
(K-DOGG)



『どうぞのいす』

香山美子/著

うさぎさんが小さいいすを作って木の下におきました。このいすの横に「どうぞのいす」と立て札を作りました。どんぐりをひろったろばさんがひるねをしている間に…!
(むらさき)



「Minoteen」は、学期に1回図書委員会が発行するおすすめ本の広報紙です。1学期は3年生図書委員のおすすめ本でした。どの本も図書館にあるので借りにきてくださいね～！ただ今夏休み特別貸出のため何冊でも始業式まで借りられます(^-^)/この機会に図書館へGO!